

2012年~2016年  
その主な出来事

2012年

- 日米両政府が垂直離着陸送機オスプレイの県内配備を強行
- 沖縄科学技術大学院大学(OIST)が恩納村に開学
- 女子プロゴルファー宮里美香氏が米ツアーで初優勝し、日本人最年少優勝記録を更新

2013年

- 「南(ばい)ぬ島」石垣空港(新石垣空港)が開港
- 女性の平均寿命で初の全国3位に転落
- しまくとぅば県民大会を初開催

2014年

- 沖縄三越57年の歴史に幕
- 読谷村、人口日本一の村に
- 県知事選で翁長雄志氏が初当選

2015年

- 沖縄戦から70年、県内各地で関連行事を開催
- 具志堅用高氏、国際ボクシング殿堂入り

2016年

- 沖縄本島(名護市)で初めての降雪(みぞれ)を観測
- 入域観光客数793万人を超え観光業が好調

ここがポイント

その後、字名にもなった「ライカム」ですが、復帰前ここにあった琉球米軍司令部「Ryukyu Command headquarters」(略称RyCom)に由来しています。

西表石垣国立公園に次いで  
県内では2カ所目

慶良間諸島が国立公園に指定

世界有数の透明度を誇り、高密度に生息する多様なサンゴや、ザトウクジラの繁殖地であることなどが評価され、大小約30の島々で構成される慶良間諸島が、3月5日(サンゴの日)に国立公園に正式指定されました。



提供:環境省



提供:沖縄タイムス社



初要請から約40年。  
待望の橋の開通に島が湧いた！  
伊良部大橋が開通

宮古島と伊良部島を結ぶ全長3,540メートルの伊良部大橋が1月31日に開通しました。通行料のかからない橋としては国内最長となる大橋は美しい宮古の海を楽しむことができるドライブコースとしても人気があります。

返還跡地利用の新しいまちづくりのモデルとしても注目を集めました



提供:イオンモール沖縄ライカム

「リゾートモール」として  
観光誘客にも寄与

イオンモール沖縄ライカム開業

北中城村の米軍泡瀬ゴルフ場跡地に、県内最大規模の複合商業施設「イオンモール沖縄ライカム」が開業しました。広大なショッピングモールの誕生にオープン初日は1万人を超える人々が詰めかけ、大いににぎわいました。



島の未来を担う、次世代の「ものづくり」

toncati(とんかち)の廃材の使った雑貨

那覇の牧志公設市場近くに店を構える「toncati」では、店主の瀧田冴子さんが作る、木っ端や段ボール、新聞紙、紙袋、ラップの芯などの廃材を再利用したインテリア雑貨やアクセサリーを販売しています。「まだ使えるものを捨てるのはもったいない」という思いから生まれた雑貨はそれぞれ

使われている素材が異なり、さらにさまざまな色に染られているため、一つとして同じものはありません。身に着けたり部屋に飾ったりと日常に取り入れることで、楽しみながらさりげなく環境保全にも寄与できる、一石二鳥のアイテムです。



【問い合わせ】  
toncati  
☎098-868-9288  
那覇市松尾2-9-1



HP

2015年

2014年

2014年

ここがポイント

2021年には、遺跡から発掘された貝製ビーズ(出土は2013年)が、日本で最古の彩色装飾品であることがわかりました。

石器文化を解明する手掛かりに

南城市玉城のサキタリ洞遺跡から、2万3千〜2万年前(後期旧石器時代)の人骨や、貝で作られた装飾品、鋭利な道具などが発見されました。人骨と道具が同じ時代の地層から出土し、人類の活動痕跡が確認された例として当時は国内最古であり、貴重な発見となりました。

サキタリ洞遺跡で  
貴重な発見相次ぐ

その後の調査で、9千年以前より古い埋葬とみられる人骨も発見されました



提供:沖縄県立博物館・美術館

復帰50年を  
振り返る

沖縄あんやたん  
かんやたん



2012年~2016年編

2022年5月15日で沖縄が本土復帰して50年。復帰からの50年を毎号5年ごとに振り返り、主なニュースや出来事と共に紹介。その当時から知らない人は学びながら、その当時を知る人は「あんやたん、かんやたん(ああだった、こうだった)」と懐かしみながらその時代を振り返ってみましょう！

協力:沖縄県立芸術文化研究所 共同研究員 仲村顕



献血バス運行  
スケジュール



献血バス運行  
スケジュール